

### 進路探究 WEEK (1)

研究推進部長 丹生 憲一

10月の第一週は「進路探究 WEEK」です。1日(月)～3日(水)までは毎日8講座に分かれて、様々な分野について講義・学校紹介が行われました。本校OBの先生方にもお越しいただいています。(東京大学・平田岳氏先生、佛教大学・高見仁志先生、大阪音楽大学・足立知謙先生、武庫川女子大学・村山太郎先生、医誠会病院名誉病院長・丸川征四郎先生)

1日(月)、平田先生は「ナノ粒子から探る宇宙と地球の進化史」と題してお話いただきました。私が取材で伺った時には、「太陽の黒点は周期的に増減を繰り返し、その数が増えると太陽の活動は強まり、減ると弱まる。太陽の活動が弱まると地球の気温は下がり、夏らしい夏が来ず、歴史的に見ても大きな飢饉が起こった時期とも重なっている。温暖化よりも深刻な問題になるかもしれない。」「恐竜が絶滅した理由は色々と推測されているが、小惑星が衝突したことだとする説が有力だ。そのとき、地球上で最も力を持っている生物が最も影響を受けると考えられている。前に衝突したときは、恐竜。もし、今衝突したとしたら人類が最も影響を受けることになるだろう。我々が生きている間は考えられないが、これから先の地球のために、君たちが打つべき手を考えないといけない」…と、「理系」「自然科学」という枠を超えた壮大な視点からお話していただいていたのが印象的でした。35人だけで聞くにはもったいない!…逆に言うと、お話を聞いた35人は幸運な人たちだと感じました。

2日(火)、高見先生の講座タイトルは「教師をめざすみなさんへ」。一番印象的だったのは「自分が教師に合っていると思う人は、何が何でも教師になりなさい。少しでも疑いを持つ人は、今すぐやめたほうがいい。」と、教員になる覚悟を力説されていたことでした。講座の中では、「いじめとイジリの違いは?」「部活動の指導者として必要なことは?」というテーマで話し合いが行われたのですが、「誰か、発表してくれませんか?」と問われて、一番に手を挙げられることの大切さが強調されました。「二つ目の拍手を取りに行け!」…一つ目の拍手とはその人の発表した内容に対して、二つ目の拍手は一番に手を挙げた勇気に対して…という意味です。「君たちはいいものをもっている。だからこそ、『二つ目の拍手』をとれるようにがんばってほしい。これと思ったら取りに行け。」と終始、力強い言葉で、後輩を激励してくださいました。参加人数は55人でしたが、こちら生き方や姿勢を学ぶという意味で、全校生で聞きたいお話でした。

各大学で活躍されている先輩方から、直にご指導いただき、激励いただける貴重な時間となっています。

(4日に行われた丸川征四郎先生の基調講演の内容は次号でお伝えします)



### 9月28日(金) 第1学年総合 第9回

1学年総合担当 梶村康人

1年生は夏休みの宿題で「身近な丹波・篠山の人物伝」というテーマで各自がそれぞれ身近な人にインタビューをし、配布したワークシートにまとめました。前時にそのワークシートをまとめ、1枚のポスターにまとめる作業をしました。本時はそのポスターを4人の班に分かれて発表をしました。中にはすごく凝ったものや、うまくまとめられているものがあり、プレゼンに熱が入っているグループもありました。一方で、制限時間4分を持て余す班もありました。もちろん個人差はあるものの、自分の発表をどのように他の人に聴いてもらえるか、また面白い内容にするか、持ち時間を余さずに発表できるか、などを各自が工夫して取り組むことができれば更に良くなると思います。そして、一番良かった人のポスターがそれぞれの班で選ばれ、次の時間にはクラスを横断しての発表が行われます。2組に各クラスの1・2班が集まって発表、3組では3・4班という具合で行われます。聞き手が興味を持てるような発表を期待します。

### 10月1日（月） 第2学年総合 第9回

2学年総合担当 村井俊之

2学期初めての総合学習が10月になって、ようやく始まりました。まずは、夏休みに課題としてまとめた台湾のレポートを持ちよって、班を作り、発表の準備をしました。テーマを自分で決めたということもあって、かなり深く考えられているレポートが多かったのですが、どんな発表になるのか楽しみです。期待しています。

### 10月1日（月） 第3学年総合 第9回

3学年総合担当 吉崎 淳

2学期の最初の実施となったこの日、担当教員12名による個別講座がスタートしました（1人1講座=計12講座）。和歌や小論文、数学の問題演習など教科・科目に特化したものから、手話やキャリア教育など人生を豊かにしてくれる講座まで、その内容は多岐に渡ります。自分の進路に直結した講座を選ぶ者、興味や関心に応じて選ぶ者、得意分野を更に伸ばそうと選ぶ者…生徒の選び方も様々です。しかしどの講座を選んでも、必ずや力を高めたり視野を広げたり、何らかのレベルアップにつながるものばかりです。こういった教科の枠を超えた学びの場を提供できることもまた、総合的な学習の時間ならではの魅力です。

なお、この講座は11月末の今学期最終授業まで続ける予定です。3学期の授業時間数が極端に少ない3年生にとっては柏原高校での総合学習の、最後の大きな柱ということになりそうです。残りの期間も、充実した時間を過ごしてもらいたいと思います。



### 10月2日（火） 第2学年探究 第12回

引き続き、各担当の先生方とそれぞれの研究・調査手法を模索し、アンケート作成や実験に取り組んでいます。



### 10月3日（水） 第1学年探究 第9回

柏陵会館2階で、一人ひとりがこれまで探究してきた内容をポスターにまとめて、発表しました。グループごとに同時に5分ずつ話すという内容で、クラスメートや先生方からの質問を受けながら、一生懸命話す姿が見られました。

